

## 客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要

学業成績は、授業科目ごとに行う試験や課題によって評価される。

各授業の評価100点満点を基準として、60点以上を合格点とする。

合格者の評価点数をGPAに照らし合わせ数値を算出できるように、100点から90点をA、89～80点をB、79～70点をC、69～60点をDとして、A(4点)、B(3点)、C(2点)、D(1点)に成績を換算する。

各授業の成績評価を規定の数値に置き換え、1授業あたりの平均成績を算出する。

GPAは、Aの授業数×4+Bの授業数×3+Cの授業数×2+Dの授業数×1の合計を、履修科目数で除した数をもとめることによって算出する。